



(←猿投山)

梅雨明けしたようです。木の陰を拾いながら暑さを避けて歩きました。日向に出ていると木陰のありがたさを身にしみて感じました。草原を横切ろうとするとバッタ類が小さな体でぴょんぴょん跳ねて見えてきます。虫たちには待っていた暑い夏がやってきました。



ウスバキトンボ

日没2時間前、まだ空に浮かんでいるトンボを見ていると、5時頃になるとイネ科の茎に止まろうかな、というような行動をはじめます。



ハヤシノ or ハタケノウマオイ  
外見ではハヤシとハタケは区別が付きません。鳴き声は「スイッ-チョン」で、ハヤシは「-」を長く伸ばし、ハタケは「-」が短く何回も重ねて鳴くという違いがあります。



ニゴイ

体長は30センチくらいあり、流線型で口が下向きについています。毎年夏に岸辺を泳ぐのが見られます。浅瀬で産卵するそうです。岸辺にはハゼの仲間の小魚が多く見られます。



コシロシタバ

シタバガ亜科。後ろ翅がきれいな仲間です。スギの樹皮に隠れるように止まっていました。捕まえて後ろ翅を見たら白い模様が現れました。



こども(幼体)のトカゲ

少し動いては止まり、また動いては止まります。カナヘビは木登りが得意ですが、こちららは地面を這っているのでカナヘビよりずんぐり体型です



イネカメムシ

2カ所の矢印先にいくつか黒点がある、側縁に白いスジが見られます。似た仲間のシロヘリカメムシ(右)もいます。





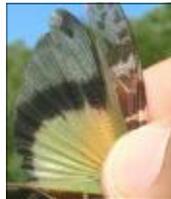
### 子蜘蛛の団居(まどい)

何グモかは不明でしたが、卵のうから孵ったばかりのこぐもたちが団子になっていました。そろそろ動き出すのか糸を伝って移動を始めていました。



### クルマバッタ

トノサマバッタより小型で盛り上がった背面、前翅中程に白い筋があります。後ろ翅に



下のように扇形の紋があって、羽ばたくと車模様に見えます。



### ウチワヤンマ

まだ羽化して間もないようで、雑木林の外れに止まりました。オニヤンマくらいの大きさですが、現れる場所がウチワは水上で、オニは川沿いの道などです。



### オオマリコケムシ

北米原産の外肛動物。黒い点が見られ、それらの一つ一つがポリプ(虫体)でたくさん集まって寒天質の群体を作ります。珊瑚のように触手を伸ばして微生物を捕らえています。



### アズチグモ

前脚が長く、獲物を抱えるようにして捕まえます。白い腹部に半透明の頭胸部、頭部におしゃれなサングラス様の飾りが見えます。



### アカボシゴマダラ

最近増えている大型種です。エノキを食草とする他の在来種に影響を及ぼすのを防ぐ狙いがある特定外来生物に指定され、飼育・放蝶が禁止されています。

**植物** ハルシャギク、ヒメジオン、ブタナ、ムラサキツメクサ、ニワゼキショウ、メマツヨイグサ、キバナノマツバニンジン花蕾、オオイヌタデ、モミジアオイ、ヒルガオ、イシミカワ、ヘクソカズラ、シモツケ、ヤマハギ、クズ、リョウブ、実(クチナシ、イソノキ、サワフタギ、イロハモミジ、コナラ、オニグルミ、ソゴ、シラカシ、シロダモ)、南湿地(トウカイコモウセンゴケ、ノギラン、イガクサ)、**昆虫** キタキチョウ、モンシロチョウ、ヤマトシジミ、コムシジ、アオスジアゲハ、アカボシゴマダラ2、蛾(コシロシタバ、ホソスジナミシャク、モクメクチバ、ヤマトカギバ、オオウンモンクチバ)、ヨツボシホソバ幼虫、コケガ類、不明みの虫、蛾不明幼虫(メドハギ)、クルマバッタ、ウマオイ、キリギリス、バッタ類幼虫(ツチイナゴ、セグロイナゴ、ツユムシ、ホシササキリ、ショウリョウバッタ、エンマコオロギ、オカメコオロギ類)、カマキリ幼虫、アミガサハゴロモ、ニイニイゼミ声、羽化殻(ニイニイゼミ、アブラゼミ)、イネカメムシ、オオホシカメムシ、ホソハリカメムシ、アメンボ類、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、コシアキトンボ、ギンヤンマ、モノサシトンボ、ウチワヤンマ、甲虫(マメコガネ、セマダラコガネ、アオドウガネ、シロテンハナムグリ)、タイワンタケクマバチ、アメリカジガバチ、ハナバエ類、シオヤアブ、アオメアブ、マダラヒメバチ、ミカドトクリバチ巣、アシナガバチ類、スズメバチ類、**蜘蛛** ジョロウグモ幼体と巣、ササグモ・卵のう・子グモの団居、チュウガタシロカネグモ、アシナガグモ、オナガグモ、アズチグモ、出のう直後の不明幼体、**鳥** スズメ、ヒヨドリ、ウグイス声、カワウ、ダイサギ、**その他** トカゲ幼体、カナヘビ幼体、外肛動物オオマリコケムシ、茸(ベニタケ類、オオホウライタケ、オチバタケ類、ヒイロタケ、虫瘤(イスノキエダチャイロオオタマフシ)、樹液の発酵臭 **次回:8月8日(木) 午前9時30分 水資源機構・P前 雨天中止 参加費100円**